

朝採り十ぶらす

■玄米酵素が沖縄進出

健康食品製造、販売の玄米酵素（札幌、鹿内正孝社長）は11月1日、那覇市に沖縄営業所—写真—を新設する。同社の道外拠点は7



カ所目。従業員3人態勢で、開設の式典を来年1月に現地で行う。全国各地で販売体制を強化する狙い。

同社は、玄米を発酵させた主力商品「ハイ・ゲンキ」などを全国の営業所や代理店を通じて販売しており、現在約12万人の顧客を抱えている。2015年12月期の売上高は50億円。近年は道外拠点を増やしており、東京や福岡などをはじめ、12年には松山市、13年には名古屋市に営業所を設けている。

同社は食育や健康をテーマにしたセミナーや自然食料理教室の開催にも力を入れている。沖縄営業所にはセミナールームも併設する。アジア諸国と近いこともあり、外国人を対象にしたセミナーも検討する。同社は「営業所を日本食や玄米の良さを国内外に伝える発信基地にしたい」としている。